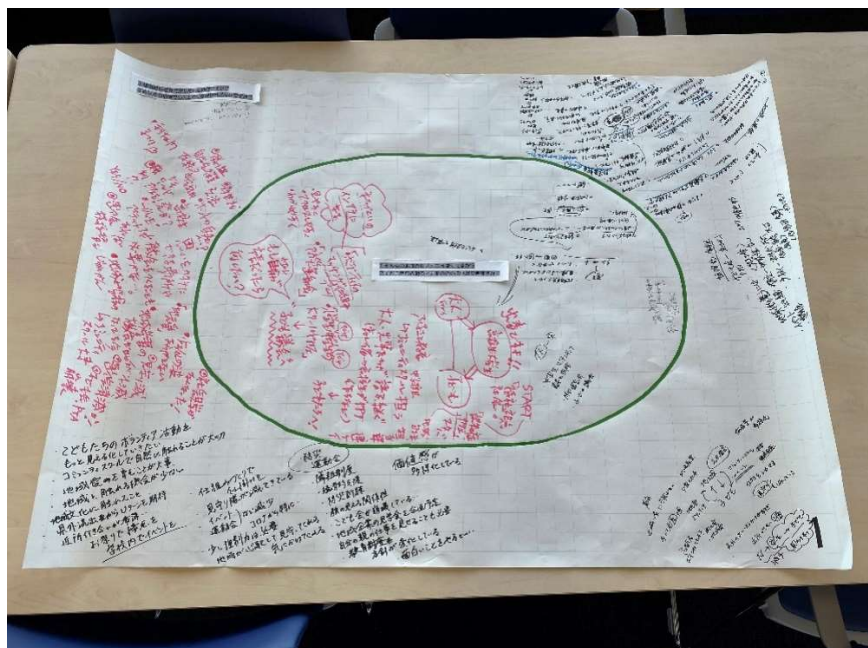


〔1 テーブル〕



〔前半〕「話題提供を見て感じたことは何ですか？」

「あなたの地域での人とのつながりはどんなですか？」

・コミュニティスクール（CS）

□地域⇄学校の循環、自然との触れ合い大事、教育方針の変化

・ボランティア活動

・祭り（利右衛門）□接点をもつ

・運動会、防災運動会

・防災訓練

・イベント（学校内）

・子ども食堂

・駄菓子屋

・多世代交流

・学校内でもワールドカフェを！

・情報発信、見える化（高校生、LINE、プラットフォーム）

□誹謗中傷問題

・思いをカタチにできる場所や機会が必要□仕組みづくり

・地元愛（郷土愛）の形成、地元愛（郷土愛）を育む

・地域学習の機会、社会見学、見守り、イベント、地域との触れ合い、近所付き合い、運動会、職業体験の減少

・存続？→隣組自治会役員、子供会、PTA

・少子化の波抗えない□県外からのUターンなど期待

・学ぶ（地域文化、自然、伝統、歴史）

・多少の強制力は必要□自主性の尊重

・経済的支援

・顔が見える関係性

・地域企業との連携（見学会）、地場産業

・自分の親の仕事をしている姿を見せることも必要

・面白いことをやる

・価値観の多様化

・気持ち、心、金銭的余裕がない

・学生と子どもの関わりはあっても、大人との関わりがない

・挨拶、親切

・焼津に向き合う子どもたちが予想より多い

・障害者の力

・競争だけじゃない

・高齢化□元気な高齢者多い

[後半]「みんなの地域の良いところは何ですか？」

「子どもたちの明るい未来のために何ができますか？」

- ・ボランティアのマッチング

☑「まちづくりのインフラ」

☑見やすく、アクセスしやすく、わかりやすく

- ・防災運動会
- ・子ども議会（もしわたしが市長だったら何をしたい？）
- ・ふるさと教育

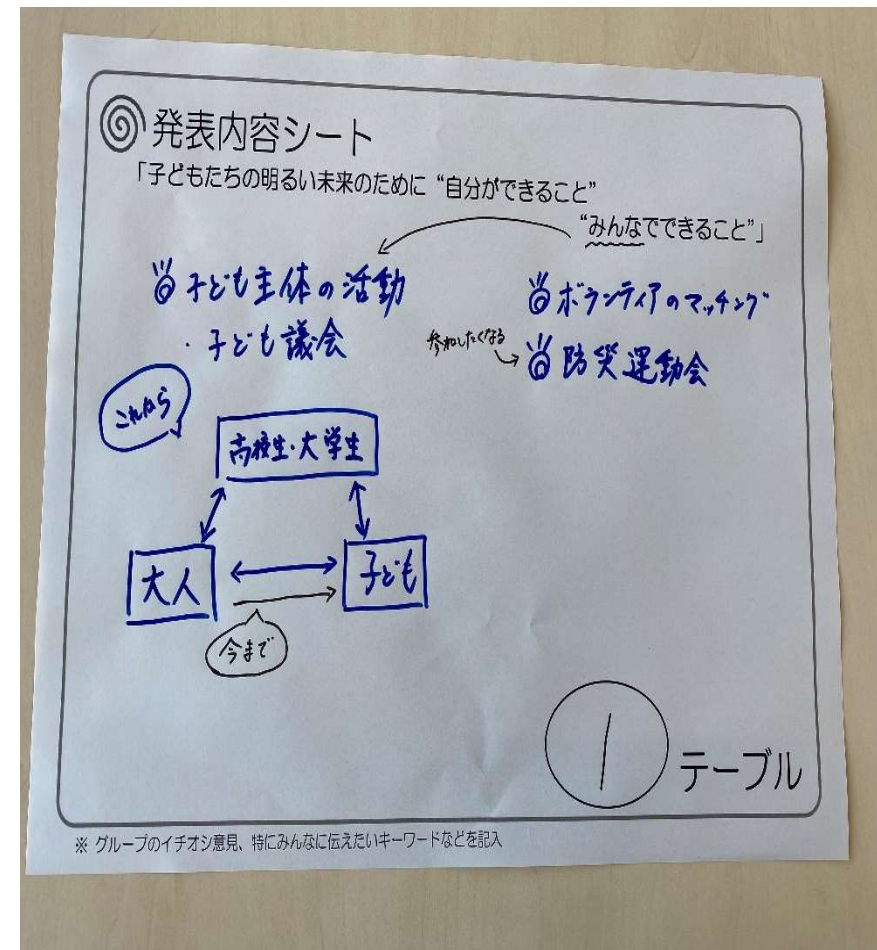
☑コミュニティスクール担う

☑大人・先輩たちが語る、継ぐ、PT を作る

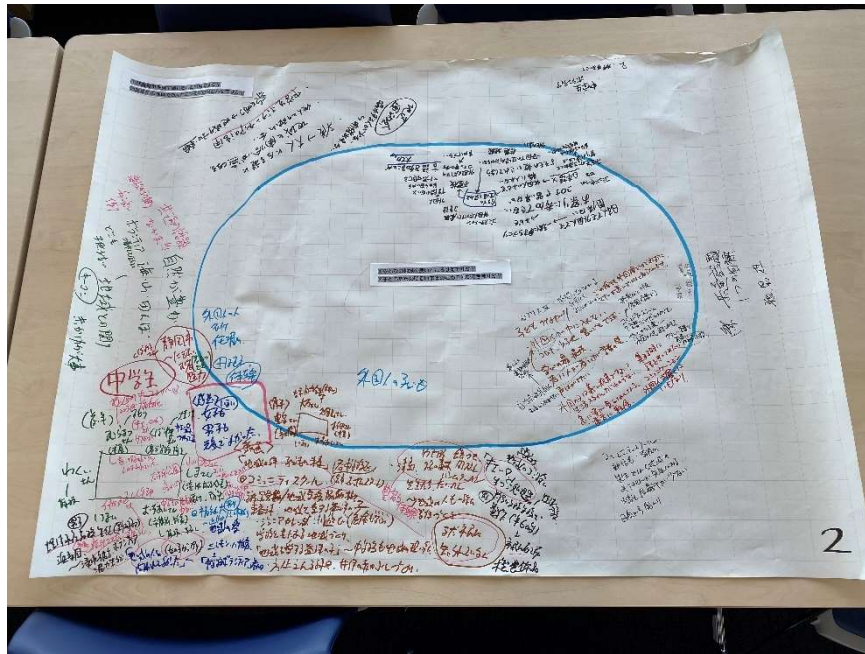
- ・「福祉」視点社会
- ・認知症カフェ（スタバ）
- ・中学生、青少年ボランティア
- ☑イベントに活かす、主体的に、ニーズのあるところに広める
- ・地域包括ケア担当課と連携
- ・隣近所の付き合いを見直す
- ・子どもの意見を取り入れる
- ・根源に子どもを入れる
- ・「大人→子ども」ではなく、「大人と学生→子ども」にする
- ・高校生、大学生「出番ですよ！」

[発表]「子どもたちの明るい未来のために

“自分ができること”“みんなでできること”」



〔2テーブル〕



〔前半〕「話題提供を見て感じたことは何ですか？」

「あなたの地域での人とのつながりはどんなですか？」

- ・コミュニティスクール

☐部活も学校の先生でなく、地域のみなさんが先生になる

☐まだ市民に知られていない

- ・中高生の居場所が少ない

- ・絆

- ・共通の課題・目標、共通の話題

- ・中学生ボランティア

☐（まつりの動画）女の子ばかり

- ・挨拶

- ・地区運動会

☐協力する人が少なく、開催できない

- ・子どもから大人になるほど地域との関わり、触れ合いがなくなる

- ・歌を唄う☐地域の和、輪

- ・お店の魅力

- ・チャンネルづくり

- ・仲間

- ・ボランティア、子どもが少ない

- ・自然豊か（海、山、田んぼ）

- ・地域との関わり

- ・地域愛

- ・キーマン、きっかけが大事☐活性化

- ・女子も男子も元気でよかった

- ・石津浜公園の活用

- ・学校と共にある地域づくり

- ・昔は、商店街が人で溢れていた

- ・豊富な体験をしている地域もある

〔後半〕「みんなの地域の良いところは何ですか？」

「子どもたちの明るい未来のために何ができますか？」

- ・外国人が中に入れない

☐芋掘り、田植え体験＝学びの場の提供

☐若い人多いが言葉の壁☐声はかけたい

- ・外国の子は義務教育ではない？

☐生活スタイルがわからない、急に姿が見えなくなる、遠方に転居

- ごみ捨ても外国語でできるように
 - ☐ マナーが悪いのではなく、知らないだけ
 - ☐ ゴミステーションに多言語案内看板設置
 - つながりは防災にもつながる
 - ☐ 外国人も巻き込めないか？
 - 自治会と外国人はお互いにつなりたい
 - ☐ 頼れる人、遠方の外国人、役所
 - 外国人の子どもが輪に入れない、よそ者扱いされてしまう
 - ☐ 母国での生活がわからない（文化の違い）

↓

今までの生活と変わる

↓

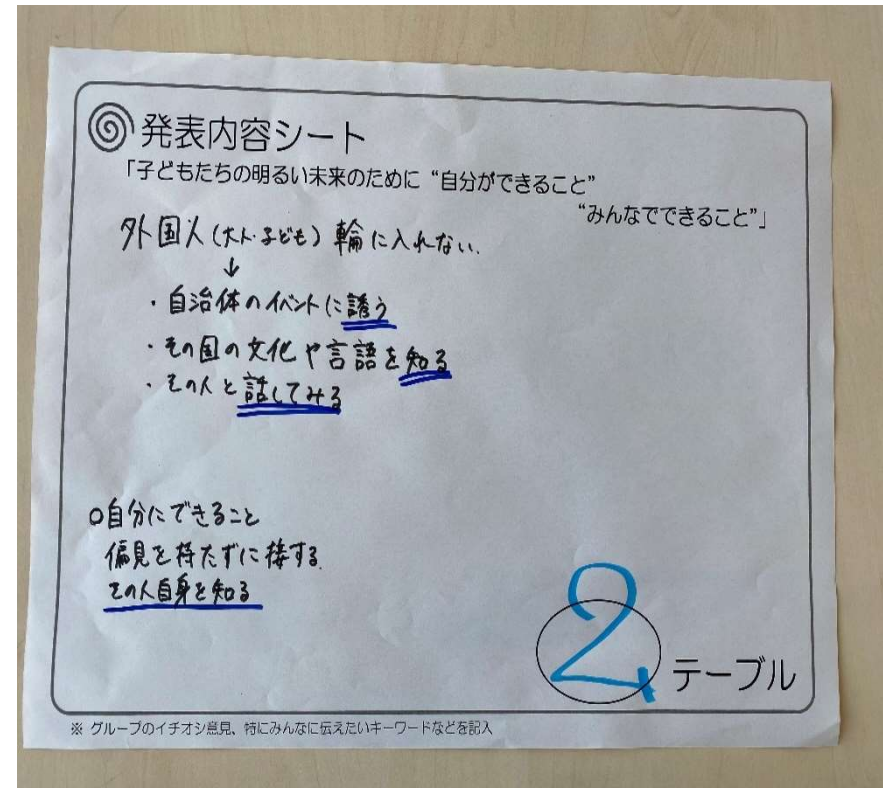
不登校
- コミュニティスクール
 - ☐ 言葉だけではかわらない。やってみたら楽しい！
 - ☐ 新聞などでPR（各国の言葉で）
 - ☐ 外国人も巻き込めたら ☐ 優しい言葉でお互いつながろうとする
 - 集まるときに話を聞いてみたい ☐ コミュニケーション
 - 教育の基本（子どもの教育）
 - ☐ 外国と違う（自主性）
 - 子どものつながり
 - お祭りに参加できない
 - ☐ コロナ、少子化、習い事で減少
 - ☐ 子どもの頃参加したお祭りが楽しかった

↓

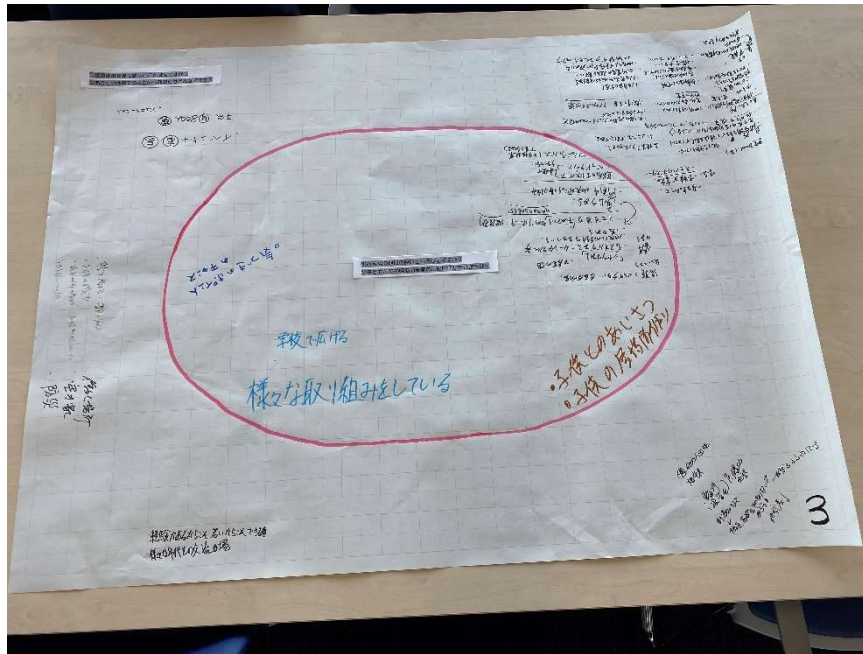
自分の子どもにも体験させたい

- 外国人同士のコミュニティ
 - ☐ 声かけづらい
 - ☐ 言語を知ることが大事
- 信頼、継続が大事
- 日本人も外国人も関係なく、一緒にまちづくり

〔発表〕「子どもたちの明るい未来のために
“自分ができること” “みんなのできること”」



〔3テーブル〕



〔前半〕「話題提供を見て感じたことは何ですか？」

「あなたの地域での人とのつながりはどんなですか？」

- 刺激のなさ
- 地域愛
- 仕掛け、コミュニティが必要
- (良いところ)

防災訓練などで情報確認ができています、取り組みはしている

空き家の活用ある（リノベーションなど）

高校生ボランティア

古いコミュニティがある

- (良くしたいところ)
- 働く場所が欲しい
- 少子化、子ども少ない
- 子どもの役割
- 防災訓練の規模
- 取り組みを知らない
- 空き家の活用でコミュニケーションの促進☐宿泊施設など
- 焼津の本気☐アナウンスが必要
- 自身の住んでいる地域
- CS
- ☐笑顔、地域力による補完、新たな取り組み
- 高齢化が進んでいる
- 家族が遠くに住んでいる
- 大人も意思を伝える必要がある
- 地域の人が自主的に決めていた
- イベント
- 祭りの参加☐親の協力必要
- 外国人の子ども
- 経験があるからこそ、若いからこそできること
- 様々な年代との交流の場
- 駅へのポスター
- 学生で告知

[後半]「みんなの地域の良いところは何ですか？」

「子どもたちの明るい未来のために何ができますか？」

- 気づきのポイントのチャンス
- 学校で広げる
- 様々な取り組みをしている
- 子どもとの挨拶
- 子どもの居場所づくり

☐ 企画が必要

- (良いところ)

施設がある (ディスカバ、ターントクルなど)

産業強い

地域での活動は生きている

港、海、山がある

資源がある

- 子どもたちが「求めているもの」をそれぞれの立場からリサーチ
- 駅前の学習スペース
- ベッドタウン
- コミュニティバス (小学校授業でも活用)

} 子どもが少ない

[発表]「子どもたちの明るい未来のために

“自分ができること” “みんなのできること”」

◎ 発表内容シート

「子どもたちの明るい未来のために “自分ができること” “みんなのできること”」

子どものニーズを知る

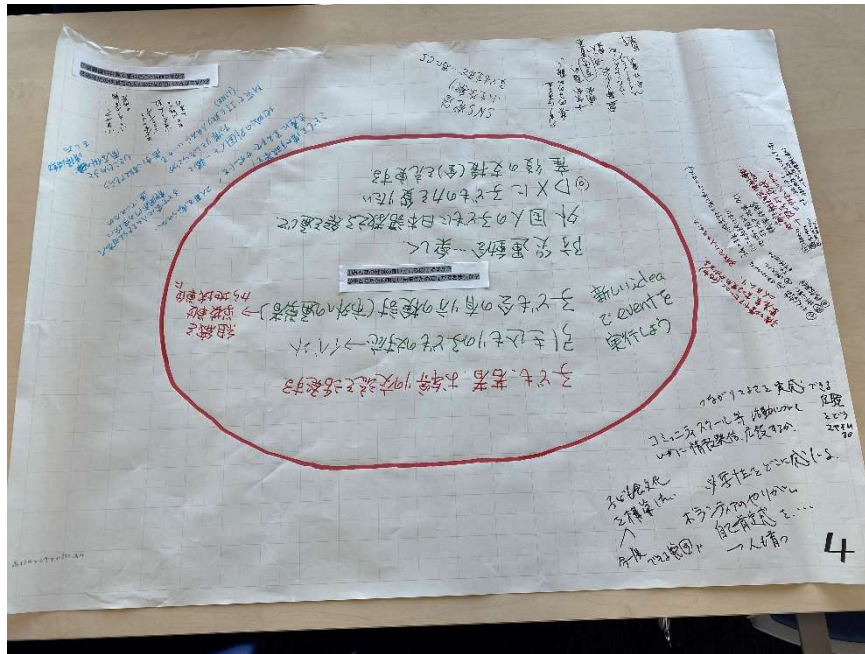
地域とのコミュニティを大切に (挨拶, 声かけ) 情報発信ねじり気づきのポイント

空家 防災 働き場所 焼津市資源

3 テーブル

※ グループのイチオシ意見、特にみんなに伝えたいキーワードなどを記入

〔4テーブル〕



〔前半〕「話題提供を見て感じたことは何ですか？」

「あなたの地域での人とのつながりはどんなですか？」

- 高校生や大学生が遊ぶ場所
- 今一度できる範囲で子供会文化を構築したい
- コミュニティスクール等活動についていかに情報発信、広報するか
- つながりの良さを実感できる体験をどうさせるか
- 必要性をどこに感じるか
- ボランティアのやりがい（中老会、子供会）
- 子どもを増やす政策

☐ 出産費用、子育て費用がかかる ☐ 二人目は無理

- 自己肯定感を上げる ☐ 人も育つ
- （静岡市内の学校に通っていたため）子供会に入れなかった
- 若い人が地域に入れるように
- 側溝清掃、商店街清掃 ☐ 引きこもりの子と掃除
- 情報発信
- 子どもが孤立
- 子どもに将来好きな仕事をやってほしい
- 子どもにたくさん経験してほしい
- 地域との関わり（ボランティア、福祉、祭り、職業体験、会社）
- 既存より新規で作ると入りやすい
- 忙しい親と子ども
 - ☐ 子育ては両親の義務という考えを消す
 - ☐ 理解を進める
- 行事はあるが人を集めるのが難しい
 - ☐ 子供会離れ、ちょうぼろ、新年会、盆踊り大会、防災インターンシップ、会社行事、ワンバウンドフラバール
- SNS発信
- 小さな祭り
- 子ども主体で（特にCS）
- 地域の外国人と一緒にお祭りをしたらどうか
- 防災でIT（LINEなど）を取り入れる
 - ☐ 若者に教えてもらう

[後半]「みんなの地域の良いところは何ですか？」

「子どもたちの明るい未来のために何ができますか？」

- 子ども、若者、お年寄りの交流を活発にする
- 引きこもりの子の対応□イベント
- 子供会の在り方の検討（市外への通学者）
- 組織を学校単位から地域単位へ変える
- 新しいアイデアでイベントを実行する
- 防災運動会□楽しく
- 外国人の子どもに日本語を教える□祭りを通して
- DXに子どもの力を借りたい
- 産後の支援（金）を充実する

[発表]「子どもたちの明るい未来のために

“自分ができること”“みんなのできること”」

◎発表内容シート

「子どもたちの明るい未来のために“自分ができること”
“みんなのできること”」

○理解を深める、

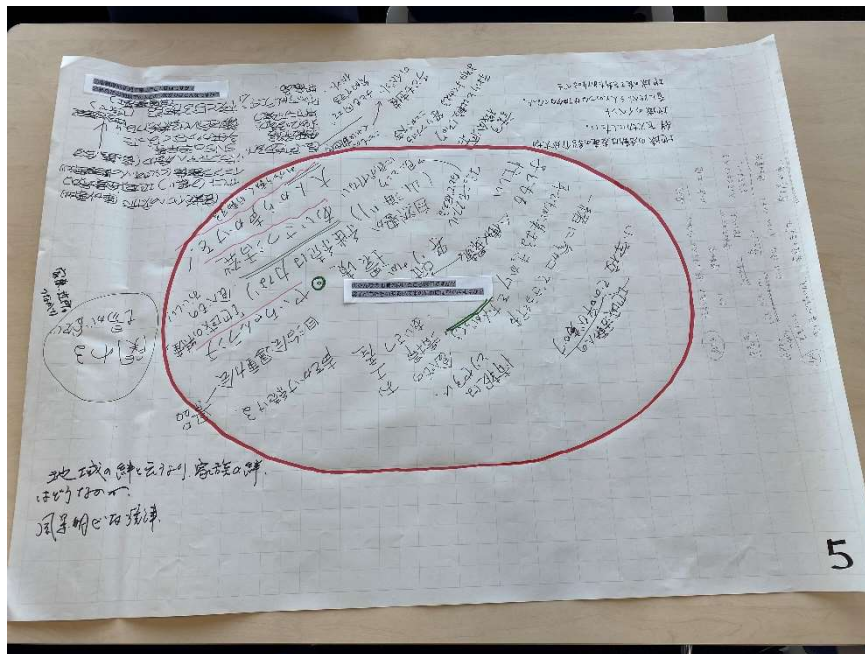
↳親子両方忙しいため、地域と関わりがキワになる
・「子育ては母親の義務」という考えを消す
・「育児休暇」の取りやすい環境作り
・(他市)二人目と産めるほど家計に余裕がない

○新しいアイデアイベント実施
↳若者の参加のためには、既存のイベントが難しい
※ 防災運動会、地域防災に挑戦

4 テーブル

※ グループのイチオシ意見、特にみんなに伝えたいキーワードなどを記入

〔5テーブル〕



〔前半〕「話題提供を見て感じたことは何ですか？」

「あなたの地域での人とのつながりはどんなですか？」

- 地域の絆というより家族の絆
- ボランティアに参加する人が少ない、参加する人が限られている
- ☑ みんなを誘い合って参加する
- 集約（祭り、運動会、拠点、お店、中老会）
- 暮らしやすい
- バス、タクシーがない
- 楽しいこと
- 近所のつながり

- できている絆が少ない（例が少ない）
- イベント復活
- 空き家が多い
- 良さの発信（SNSの活用）
- 入ってくれる人、参加してくれる人をどうするか
- 地域の活動は友達の紹介が大切
- 絆を大切にしたい
- 昔と比べるとつながりが少なくなった
- 地域の良さを改めて知るべき
- 話す機会、顔を合わせる機会が減った
- ☑ 関わる場が欲しい
- 周りと比較してしまう
- よそは良く見える
- 祭りを続けることが大変
- 子ども主催、子ども同士で参加できるイベント
- ☑ 子どもが来れば親も来る
- 情報発信は年代によって求めているものが違う
- やいちゃんランチ
- 特産品
- 高齢化への対応 ☑ 車が必要
- イベント（祭り）は地域全員で参加
- インフラ整備（人が集まる街づくり）
- 核となる施設（民間誘致）
- 子どもが少なくなった

〔後半〕「みんなの地域の良いところは何ですか？」

「子どもたちの明るい未来のために何ができますか？」

- 小学校での地域活動への呼びかけ
- 情報は取りやすい
- 一緒に参加できる行事
- 子どもが集まるきっかけを大人がつくる
- 子どもも忙しい
- 食べ物 ☐ おいしい
- 清掃
- 挨拶
- お土産
- 自然豊か（山、海、川）
- 良いところに気付けていない
- ☐ コミュニティスクールでなどで伝える
- 声をかけ続ける
- 自治運動会 ☐ 景品
- やいちゃんランチ ☐ 地域の特産
- 継続は力なり
- 挨拶を活発に
- ☐ 大人から声掛けを！ ☐ 自ら動く、行動する

“自分ができること” “みんなでできること”

◎ 発表内容シート

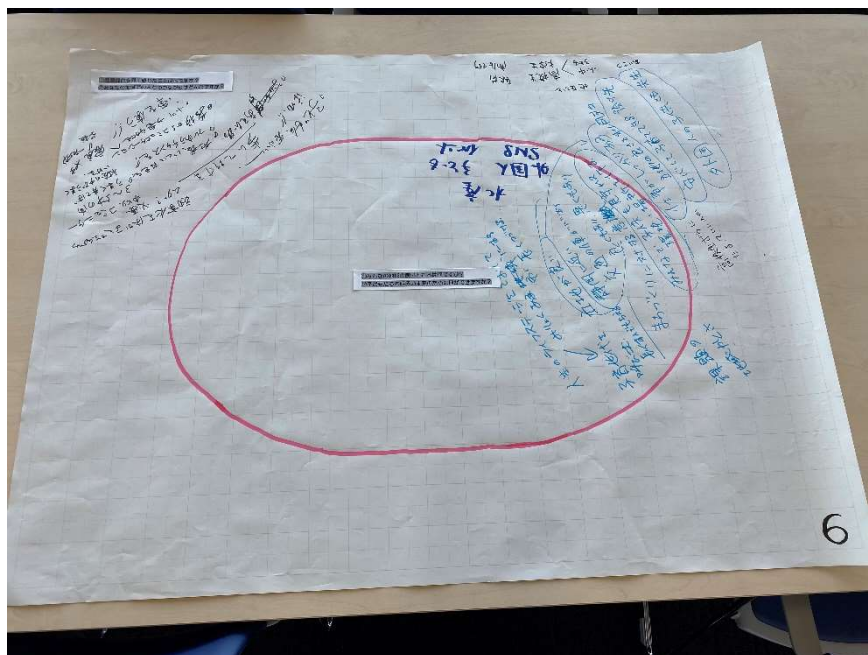
「子どもたちの明るい未来のために “自分ができること”
“みんなでできること”」

子どもが集まるき、かけ
場所づくり 大人がつくる
清掃 あいさつ
小学校で地域活動への呼びかけ
景品、運動会 5 テーブル

※ グループのイチオシ意見、特にみんなに伝えたいキーワードなどを記入

〔発表〕「子どもたちの明るい未来のために

〔6テーブル〕



- 子供会
- 活力
- 歩いて行ける遊び場
- 地域ごとに特色を
- 触れ合うチャンスを
- 車を使う
- 効率化を図る
- 無駄は必要？
- ゆとり
- 3歳～5歳の間上手く育てば社会の中でうまくいける
- 家族、学校、地域の関係

〔前半〕「話題提供を見て感じたことは何ですか？」

「あなたの地域での人とのつながりはどんなですか？」

- 課題の地域格差
- 高校生ボランティアに頼っているのか
- 仕事がある
- 立地の良さを利用する
- 安心して子育てができる預け先
- 外国人の子どもとも共生
- 挨拶 ☐ コミュニケーション
- 地区ごと
- 小中学生＞高校生、大学生
- 駅前商店街

〔後半〕「みんなの地域の良いところは何ですか？」

「子どもたちの明るい未来のために何ができますか？」

- 子育て世代を呼び込む

☐ 人生のライフステージを通して魅力ある市にする

☐ 長く続ける

- 長く住んでもらえる

☐ 立地が良い

静岡に近い

交通の便がいい

良くもあり、悪くもあり

- まちづくりに対する意識

☐ みんなで子どもを見守れる環境・場所を作る

- 外国人

- 水産

- SNS

- 子ども

- イベント

“自分ができること” “みんなのできること”

◎ 発表内容シート

「子どもたちの明るい未来のために “自分ができること” “みんなのできること”」

**人生のライフステージとおいて
魅力ある市を長くつづける!**

子育て世代を呼び込んで長く住んでもらう

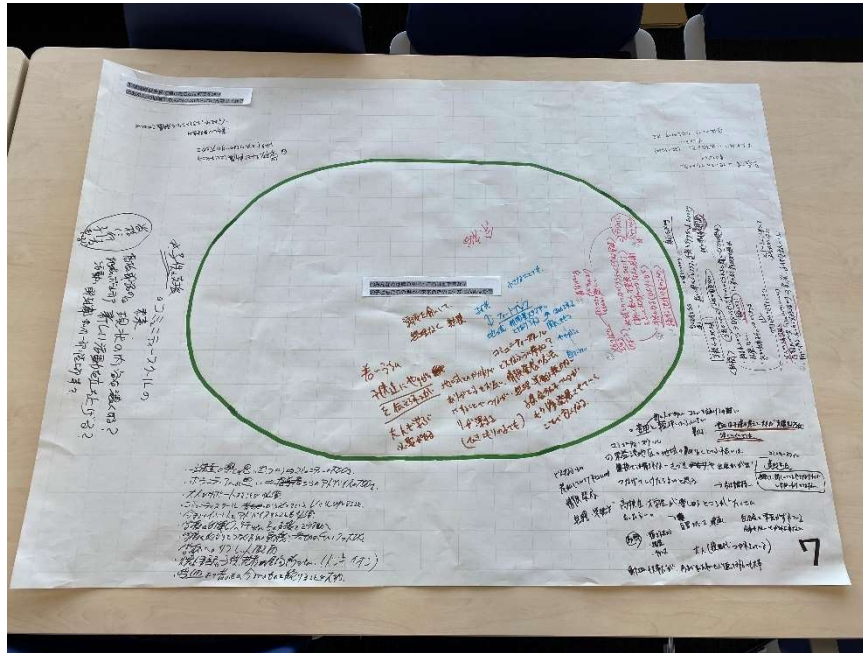
- ① みんなで子供を見守れる環境・場所を作る
- ② 親の仕事の需要がある (立地の良さを活かす)
- ③ 安心して子育てできる 預け先
- ④ 外国人の子供や親とも共生する活動

6 テーブル

※ グループのイチオシ意見、特にみんなに伝えたいキーワードなどを記入

[発表] 「子どもたちの明るい未来のために

〔7テーブル〕



〔前半〕「話題提供を見て感じたことは何ですか？」

「あなたの地域での人とのつながりはどんなですか？」

- 学校と地域の連携をつなぐための動機やチャンスが大切



（動機）頼まれたから☐自分が作ったものが飾られて嬉しい
経歴欲しい

参加できるチャンスがある



カリキュラムへ反映

- 大人がまず笑顔に

- 自習スペース

- 新しく作る or 元々ある資源を活かす

☐発展、子供会文化のメリット

- どのように参加を促すか

☐情報発信☐広告、☐コミ（無理、単発はだめ）

- 新しく来た人の地域とのつながりをどうするか

- 学校にいけない引きこもりの子

☐自分の関連事と興味

- 身近な居場所

- 大人が考える→子どもが考える（自主性）→大人が支える

- 学校の在り方と自治会の在り方は相違

- 学校など所属しているところ以外でのつながりの大切さ

- 子どもの支援☐大人がサポート

- コミュニティスクールの未来

☐現状の内容を濃くする or 新しい活動を立ち上げる？

- 子どもたちに楽しい思い出づくり☐コミュニティの大切さ

- ボランティアへの思い☐指導者からのアドバイスの大切さ

- 今までのイベントをアドバイスすることも大切

- 学校へのタブレット配布

- 焼津駅に子ども、若者の居場所がない☐ドンキ、イオン、映画

- 受け皿より昔のもの、今までのものを続けることが大切

☐無理して続けなくてもよい

- 自治会と学区がずれている☐合わせないと噛み合わない

- 親世代疲れきっている

[後半]「みんなの地域の良いところは何ですか？」

「子どもたちの明るい未来のために何ができますか？」

- 若いうちに子どもたちにやりがい伝えられるか
- 大人も学ぶ必要がある
- 地域との関わりでお互いに感謝することでつながりが深まる
- 学校を介して無理なく継続
- 子どもと地域のつながり
- ☒ 小さなことでもフィードバック(新聞等メディアで取りあげる)
- ☒ 褒められる
- ☒ 関心をもつ
- ☒ やりがい
- ☒ 自己肯定
- コミュニティスクールどのように参加？
- 情報発信の方法
- 無理、単発は続かない
- 子供会廃れているが、もう一度発展させることで良くなる
- 大人の心の余裕 ☒ サポートにつながる
- 地域とのつながり薄い
- ☒ 今ある資源、新しく来た人、不登校、ひきこもりをもっと地域につなげるため感謝をする
- 手本となる
- 世代が変わるため、続ける
- イベント(餅つき、肝試し)
- 義務みたいなものより楽しさを

[発表]「子どもたちの明るい未来のために

“自分ができること”“みんなでできること”」

◎ 発表内容シート

「子どもたちの明るい未来のために “自分ができること” “みんなでできること”」

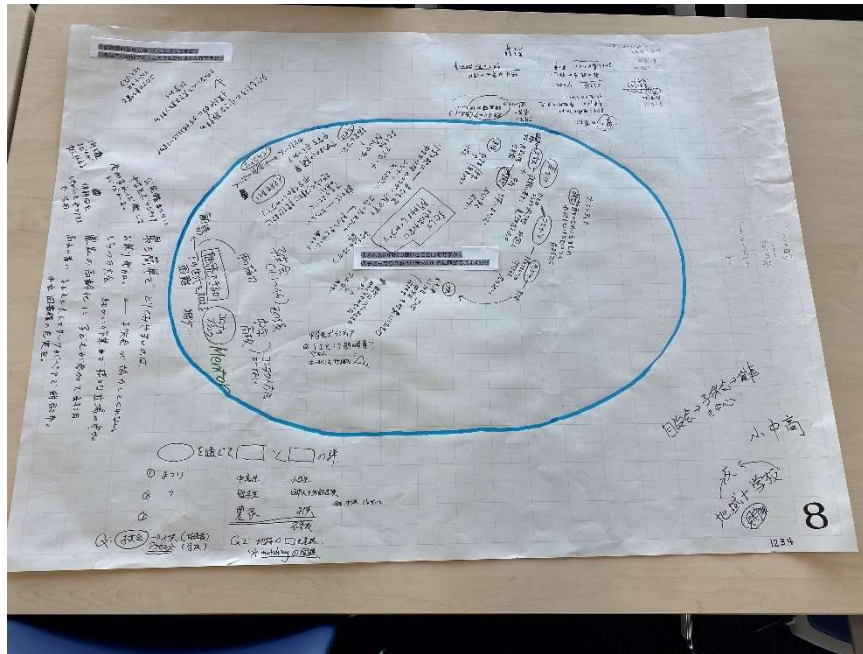
・ フィードバック(感謝・やりがい)

・ 大人の心の余裕
(サポート、大人が手本に)

7 テーブル

※ グループのイチオシ意見、特にみんなに伝えたいキーワードなどを記入

〔8テーブル〕



〔前半〕「話題提供を見て感じたことは何ですか？」

「あなたの地域での人とのつながりはどんなですか？」

- 自治会→子供会→催事を中心に
- 地域と学校で見守り隊
- 行事
- 子どもが少ない
- 参加する人
- 高齢者
- 祭りの参加

☑多世代交流で地域とつながる、伝統とのつながり

- 子供会

☑子どもを集めにくい

☑少子化、親の説得が難しい、習い事

- 耕作放棄地の活用

☑中学生と共に畑作業、じゃがいも、コスモス

- 大学生（若者）が遊べる場所ところ

☑スケートリンク（昔あった）、映画館がほしい

- 子どもたちの小さな取組み、積極的に関わろうとしていること



地域によって大きな取組みに変わる

- コロナの影響でイベント中止、子ども減少

- 公民館まつりに中学生ボランティア参加すれば楽しさがわかる

- 獅子木遣り☑子どもが教え伝える

- 最も簡単で取り組みやすいのは、お祭り参加、餅つき大会

☑子供会が協力してくれない、細かい作業で様々な立場の人参加

☑農家の高齢化に子どもが参加で解消

☑高齢者に子どもと大人スタッフがペアで餅配布

- 市立図書館の充実を

- 外国人と日本人の絆

- 不登校の子との関わり

- 子ども同士の関わり（小中学生）

[後半]「みんなの地域の良いところは何ですか？」

「子どもたちの明るい未来のために何ができますか？」

- ボランティア (中学生ボランティア)

☒ 理想: 自分のためになるもの、やらされている感なく自主性

- やりたい人とやってもらいたい人の間のはっきりした仕組み

- 声かけ

- 大学生と中高生の関わり

☒ 大学生: 就職に有利だが、活動少ない

 中高校生: 入試、学習面で有利

☒ 行事に巻き込む、大人は手を出さない

- 中学生と小学生の関わり

☒ 中学生が手本になる

- つながり

☒ 縦のつながり、横のつながり、学生、外国人

☒ 情報発信 ☒ 焼津のLINEやSNS (中高生対象)

- 昔は、自然に小さい子どもの面倒をみていた、リーダー

☒ 今はない

- 子どもが地域社会に関われる仕組みづくり ☒ 市全体

☒ 人材を育てる

- ① 小学生までは子供会 ☒ 中学生以降のつながり減少

☒ コミュニティスクール ☒ 結びつきがどこまであるか？

- ② 親の世代変わらない

☒ 下の世代を変えていく ☒ 地域の活動に積極的に

- ③ アプローチ

☒ 子どもたちは関心多いが、機会が少ない

☒ 辞めるのは簡単なもの、中学生ボランティア

- 継続が難しい ☒ 縮小

☒ 市の協力、勧誘

- コロナのブランク

- メンターが必要

[発表]「子どもたちの明るい未来のために

“自分ができること” “みんなでできること”」

◎ 発表内容シート

「子どもたちの明るい未来のために “自分ができること” “みんなでできること”」

**子どもが地域社会に関われる
しくみづくり**

小学生 → 地域のイベントに参加する。
中学生 → 中学生ボランティア
高校生・大学生 → Mentor制度。良いロールモデル

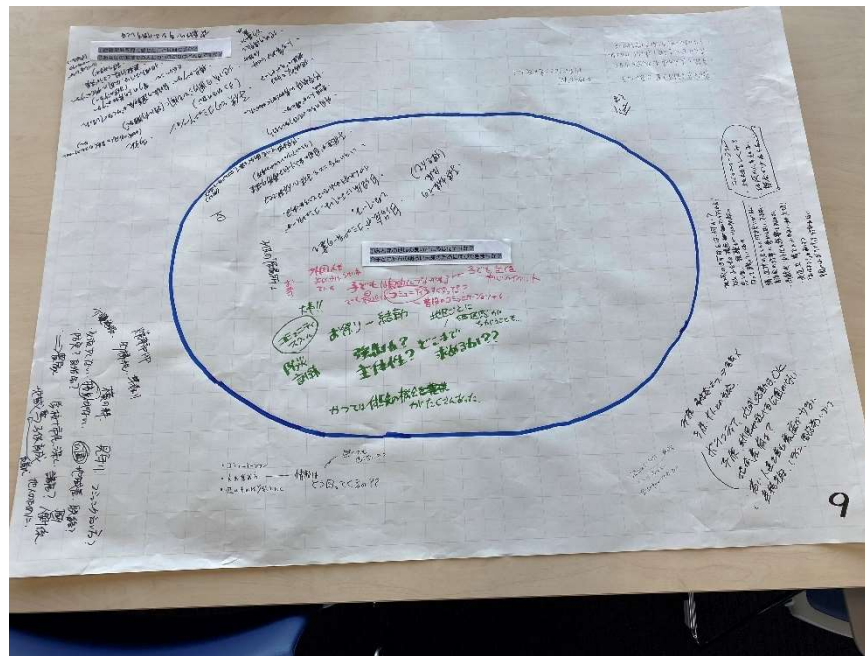
参加者が参加しやすい
プラットフォームづくり (SNS等)

自治会 市 学校

9 テーブル

※ グループのイチオシ意見、特にみんなに伝えたいキーワードなどを記入

〔9テーブル〕



〔前半〕「話題提供を見て感じたことは何ですか？」

「あなたの地域での人とのつながりはどんなですか？」

- ・コミュニケーション
- ・人の集め方□情報はどう回っているか？□無くても困らない？
- ・良いものは残っていく
- ・生活の中での優先度
- ・子どもと交流□（挨拶、ゴミ拾い）、
- ・ボランティア、地域活動はOK
- ・子ども、幼児が遊べる公園、遊具がない
- ・若い人たちを含む家族が少ない

地域差ある

- ・連絡手段（LINE、電話等）
- ・地域の絆とは何か？□大人と子どもの接点で作られている
- 思い出、経験が心の支えになって残っていくもの
- ・隣、近所の方々との付き合いがない
- ・自治会の行事に参加しない、できない
- ・高齢化、少子化の影響
- ・触れ合いが大切□「おはよう」の挨拶
- 地域の人を知る（機会を増やす）
- ・中国にはボランティア活動がない
- ・大人と子どもの接する機会が少ない
- どう接してよいかわからない
- ・ITの進化で高齢者が取り残されている
- ・（地域の現状）コロナを境に行事が減っている
- ・外国の方との芋掘り
- ・和田地区人口増えない
- ・防災訓練に参加させてくれなかった
- ・人を集める仕組み
- ・地域の情報をどう伝えるか
- ・地域の困りごとを聞く（特に高齢者）
- ・自治会の運動会がなくなった
- ・祭りの人の参加が少ない（子どもが少ない）
- ・公園に遊具が少ない
- ・創造
- ・多文化、多様性（地域の外国人と日本人の触れ合いがない）
- ・最初の一步を踏み出す仕組み
- ・子どもの見守り

[後半]「みんなの地域の良いところは何ですか？」

「子どもたちの明るい未来のために何ができますか？」

- 自治体がコミュニティの基礎となっている
 - 自治会によっては、コミュニティが盛んに行われてところもある
 - 色々なことを子どもに体験させる
 - 子どもたちが自由に出入りできる場所の提供
 - ☐ コミュニケーションをとれる場所
 - ☐ 子ども主催のイベント
- } 居場所
- 防災訓練や芋掘り
 - お寺
 - コミュニティスクール
 - 外国人も呼びかけ、受け入れていく
 - 最近ではコミュニティが薄くなっている？
 - ☐ 普段のコミュニケーションから
 - お祭り＝結束力
 - 強制力や主体性をどこまで求めるか
 - ☐ 地域によって価値観違うことも…
 - かつては体験の機会がたくさんあった

[発表]「子どもたちの明るい未来のために

“自分ができること”“みんなのできること”」

◎ 発表内容シート

「子どもたちの明るい未来のために “自分ができること”
“みんなのできること”」

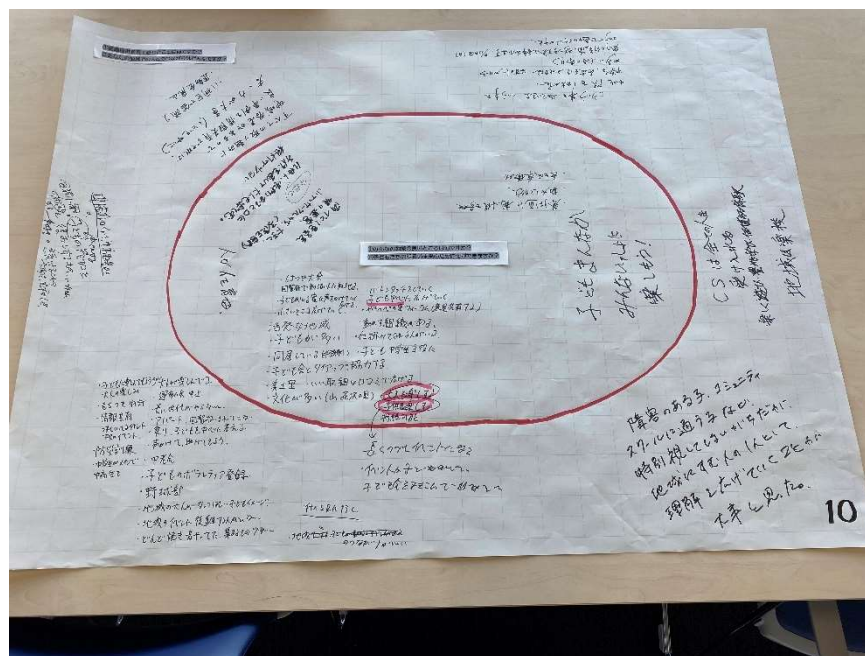
・ 子供主催でのイベント開催
(芋掘り、焼き芋など)

・ 子供の自由、~~無~~保護、育成を育む
創造

9 テーブル

グループのイチオシ意見、特にみんなに伝えたいキーワードなどを記入

〔10 テーブル〕



〔前半〕「話題提供を見て感じたことは何ですか？」

「あなたの地域での人とのつながりはどんなですか？」

- ・子どもに楽しんでもらうのが大人の楽しみ ☐ 大人が楽しむ
- ・餅つき大会 ☐ 好評
- ・情報共有（上手くいっているイベント、下火のイベント）
☐ 声をかけて助けてもらう
- ・防災訓練
- ・中高生メインで
- ・運動会が中止（廃止）になった
- ・若い世代がやらない

- ・アパートは回覧板回ってこない
- ・祭り ☐ 子ども中心に
- ・中老会
- ・子どものボランティア
- ・地域の大人になってほしい子どもをイメージ
- ・地域のイベントの後継者がいない
- ・どんど焼き（昔やっていた） ☐ 集まるもの少ない
- ・地域の子どものつながり
- ・障害のある子など特別視してしまいがちだが、地域に住む人の1人として理解を広げていくことが大事
- ・CSは全ての人を受け入れる
☐ 楽しく遊び、豊かに学び、価値ある体験
- ・地域は楽校
- ・やっていることをもっと工夫した方が良い
- ・中高生は、みっともない、恥ずかしがり屋が多い（特に祭り）
- ・コロナで色々なイベントが中止
- ・すべての取り組みに地域差がある ☐ 良い事例を情報共有
- ・若い力が大事（子ども中心）
- ・（八幡地区）盆踊り

[後半]「みんなの地域の良いところは何ですか？」

「子どもたちの明るい未来のために何ができますか？」

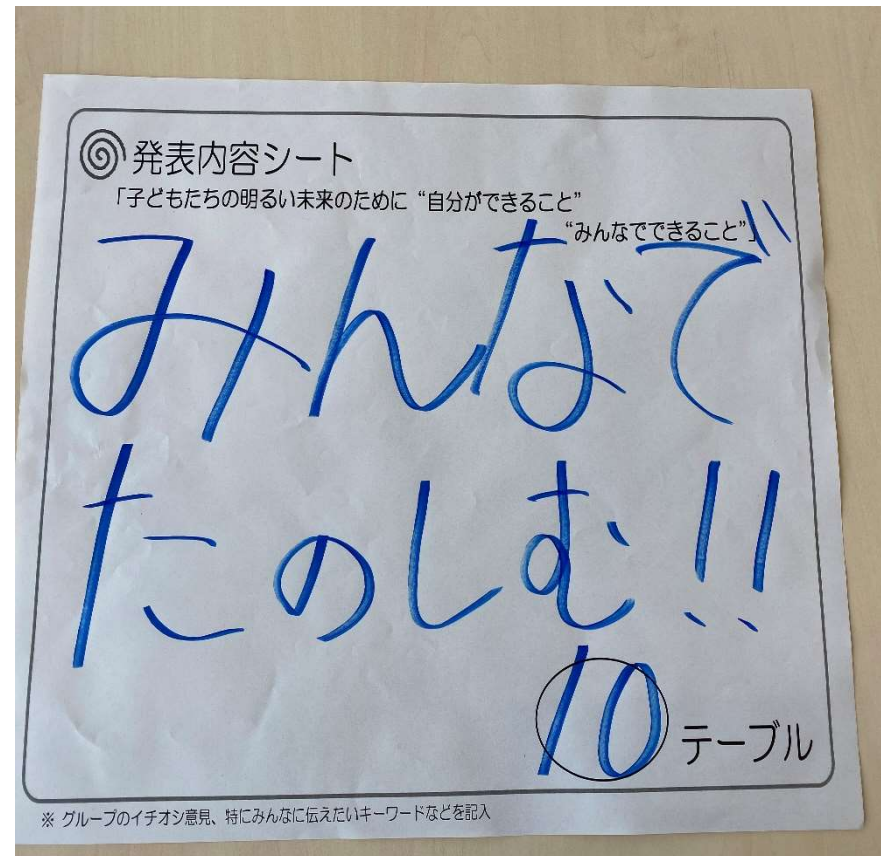
- 祭りを通して親、子ども参加
- ☐ 色々な準備あり ☐ 協力してもらう
- (子ども含め) 小さいサークルから大きく
- 子供会 ☐ 巻き込む
- 仕掛け人、長所あると良い
- 子どもを通じて大人も楽しむ (大人も子どもも楽しむ)
- ☐ 長く続くイベントになる
- 街灯が少ない
- 人が人を育てる
- 子どもまんなか みんな一緒に楽しもう!
- 餅つき大会
- 回覧板で知らない人に知らせる
- 子どもがいる家に声をかけていく (広げる)
- 小さいところを広げていく
- 活発な地域 ☐ 子どもが多い
- 同居している (半強制)
- 子供会とタイアップ、協力する
- 美土里の会 (藤枝市助宗)
- 良い取組みは口コミで広げる
- 文化が多い (山、花沢の里)
- バトンタッチをしていく
- 子ども中心 (主役) に広げていく
- やきつべの里フォーラム (意見共有する)
- 動かす組織がある

• 仕掛けてくれる人がいる

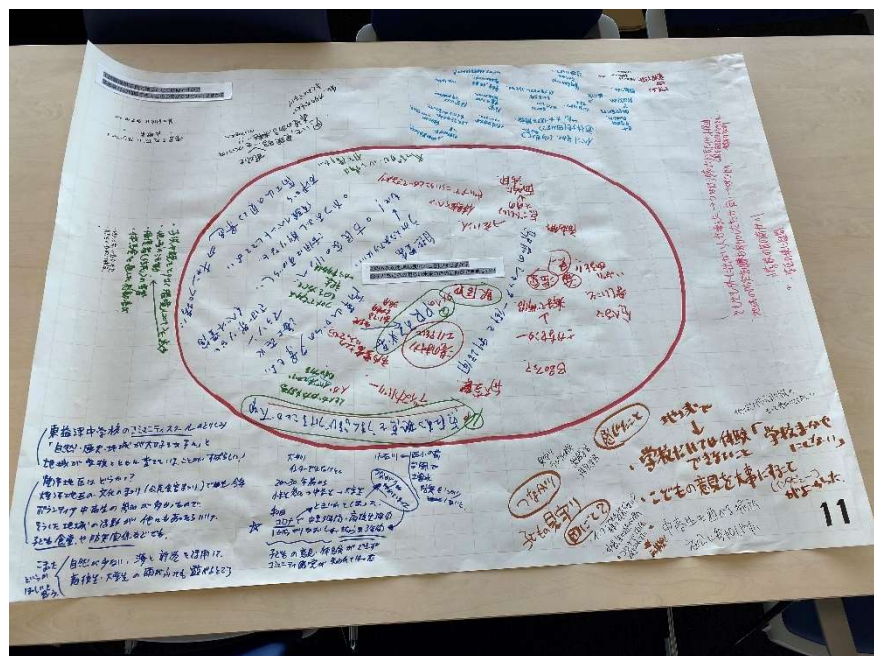
• 持続可能

[発表]「子どもたちの明るい未来のために

“自分ができること” “みんなでできること”」



〔11 テーブル〕



〔前半〕「話題提供を見て感じたことは何ですか？」

「あなたの地域での人とのつながりはどんなですか？」

- 東益津地区のコミュニティスクールの取り組み
- 地域が学校とともに育てていることが素晴らしい
- 焼津地区の文化のまつり（公民館まつり）
- 中高生ボランティアの参加が多い

↓

子ども食堂や防災関係でも同じく

- (もっとほしいもの) 自然が少ない、海と新港の活用、
高校生・大学生の雨が降っても遊べる場所

他地域にも
あったら
いいな～

- 大井川インターできたけど…

- (和田地区)

コロナで学生の貴重な時間やつながりが途切れてしまった

□ 1からやり直し

□ (子どもの意見) 体験ができずコミュニティ感覚が失われた

- 小石川増水 □ 防災をしっかりとしないと
- (つながり) 子どもの見守り、ラジオ体操、総合学習、防災学習
(困りごと) インターできたけどあまり変わっていない、

地域の防災訓練もっと参加してほしい □ 呼びかけ
中高生の遊び場、コロナで関係途切れた □ 再構築を

(感じたこと) 学校だけでは学べないこと □ 学校任せにしない

子どもの意見を大事にすること

□ インタビューが良かった

社会に参加しやすい

- そもそも外に出ない人が増えた

□ つながり減、ボランティア・イベント促進、

公園で友達と遊ぶだけでも…、多学年のつながり

- 学区の境に疑問
- 西小の前が川 □ 安全が気になる
- 情報交換
- イベント参加（多世代交流）
- 遊休地（田んぼ） □ 高校生、大学生が使える施設
- 保護者が出れば子どもも出る
- 思いを実現する環境をつくる
- 希望のある未来をつくっていきたい
- 若者を地域に結び付ける

[後半]「みんなの地域の良いところは何ですか？」

「子どもたちの明るい未来のために何ができますか？」

- ・ サッポロビール工場の力を借りたい
- ・ 広範囲に点在しているもの□面的に活用
- ・ 体験イベント（かつお節削り）
- ・ 自然豊富□もっとうみえ〜るの活用
- ・ 古民家のリノベ
- ・ 石津から富士山見える景色□キャンプ場
- ・ コロナで切れたものをつなぐ視点
- ・ 高草山からの景色
- ・ イベント豊富（海上花火、マラソン、さば祭りなど）
- ・ 人と人が関わる場□イベントなどで結びつける
- ・ ディスカバリーパーク
- ・ 市内業者にも入ってもらう
- ・ PR必要（駅周辺、港まわり、空き地の活用など）
- ・ 駅前シャッター街を利活用
- ・ B品フェア
- ・ さかなセンター□海まで歩ける
- ・ 食べること、楽しいこといっぱいあるといい（海、温泉、魚など）
- ・ 商店街

[発表]「子どもたちの明るい未来のために

“自分ができること”“みんなでできること”」

◎ 発表内容シート

「子どもたちの明るい未来のために “自分ができること” “みんなでできること”」

子どもも表に出すには、

点状する拠点をうまく結びつける

駅周辺等 外へPRする。

活性化

海・魚・温泉・イベント(地元花火、マラソン、さば祭り)

さかなセンター・ディスカバリー・高草山。

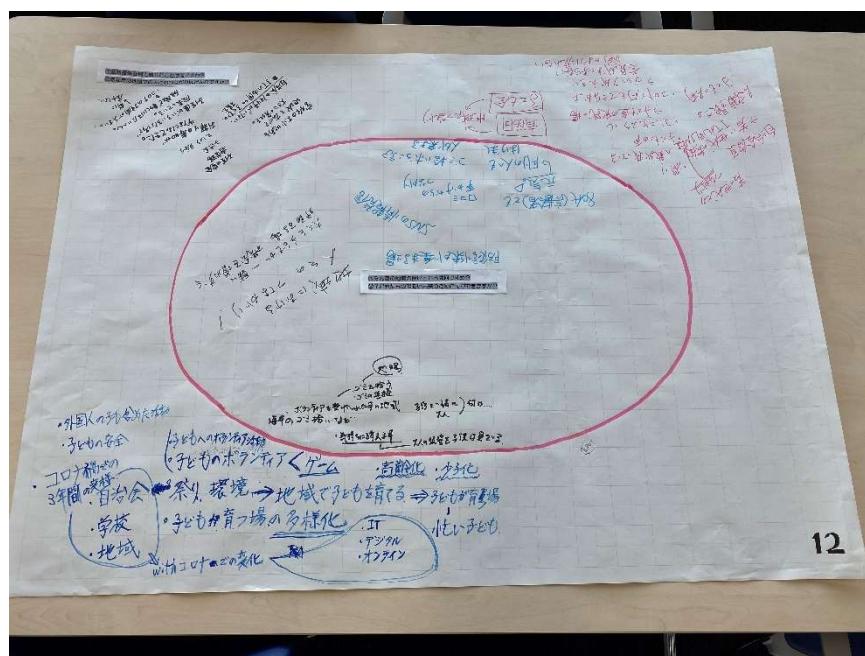
※コロナで切れたものをつなぐ!

(人・物・場)

11 テーブル

※ グループのイチオシ意見、特にみんなに伝えたいキーワードなどを記入

〔12 テーブル〕



- 祭り、環境☐地域で子どもを育てる
- ☐子どもが育つ場の多様化←子ども忙しい
- 高齢化、少子化
- 自治会役員☐なる人がいない
- ☐若い世代の参加☐IT化「LINE」☐若い世代との繋がり
- 各学校の「良さ」
- 祭り☐人数、参加が減っている
- 子どもの声
- コミュニティスクール☐子どもたちの実践の場
- 地域のつながり☐消防団、子供会
- 学校の大小がある
- ☐地域を広げて、大きさの変化を
- 通学路
- 子どもたちが色々な場で成長している
- 組織で動くには大変

〔前半〕「話題提供を見て感じたことは何ですか？」

「あなたの地域での人とのつながりはどんなですか？」

- 外国人の子も含めた活動
- 子どもの安全（見守り）
- コロナ禍での3年間の変容（自治会、学校、地域）
- ☐with コロナでの変化（IT、デジタル、オンライン）
- コロナで何もできなかった
- ☐空白が大きい、意見まとまらない、以前のように戻れない
- 子どものボランティア < ゲーム
- 子供会

[後半]「みんなの地域の良いところは何ですか？」

「子どもたちの明るい未来のために何ができますか？」

- ・防災訓練が集まる場
- ・80代（高齢者）でも元気
- ☐ 周りの人へも励まし
- ・口コミ、声かけからのつながり
- ・ごみ拾いボランティア（海岸のごみ拾い）
- ☐ 人が集まる
- ・SNSの情報発信
- ・地域における人々のつながり
- ・大人と子どもと一緒に行動する場
- ☐ 機会を増やす
- ・ボランティアを受け入れやすい地域
- ・気持ちに訴えること
- ☐ 大人の後ろ姿を子どもは見ている

[発表]「子どもたちの明るい未来のために

“自分ができること” “みんなでできること”」

発表内容シート

「子どもたちの明るい未来のために “自分ができること” “みんなでできること”」

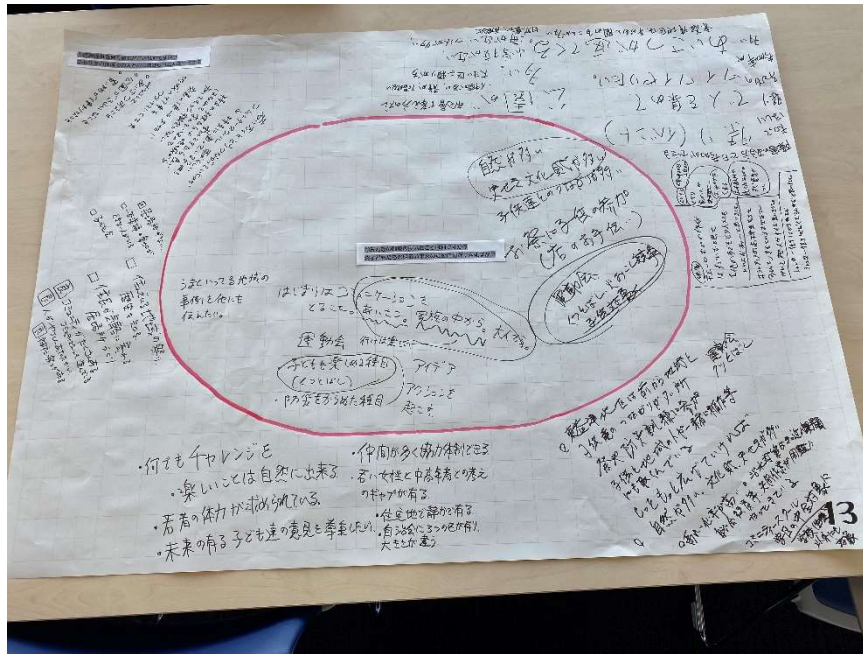
みんなの地域 → 子供達へも伝えたい。
後継も必要。
海岸清掃 → 市内から、子供達も参加して。
今のまま、今のままに続けよう。
地域のつながりはないわけではなし。
みんなが楽しくやると、子供達も
参加するはず。

若年層は減少している。中高生は減少している。
高齢層は増加している。高齢者も参加する。

12 テーブル

※ グループのイチオシ意見、特にみんなに伝えたいキーワードなどを記入

〔13 テーブル〕



〔前半〕「話題提供を見て感じたことは何ですか？」

「あなたの地域での人とのつながりはどんなですか？」

- ・何でもチャレンジを
- ・楽しいことは自然にできる
- ・若者の体力が求められている
- ・未来のある子どもたちの意見を尊重したい
- ・仲間が多いと協力体制できる
- ・若い女性と中高年者との考えのギャップがある
- ・住宅地が静か ☐ 工場少ない
- ・自治会に3つの区があり、大きさが違う ☐ 大きい区に頼りがち

・東益津地区は前から地域と子どもたちのつながりの多いところ

☐ 子どもと地域の人と一緒に稲作等にも取り組んでいる

☐ もっともっと広げていければ

・自然、文化財、史跡、公園、釣り人が多い

・高齢者率が高い

・治水対策は喫緊の課題

・自治会役員等共同作業が困難になってきている

・コミュニティスクールは学区内対象

☐ 学区以外も対象に

・（映像）キエーロなどの作成はすごいと思った ☐ 他市でも活用
水産高校野球部の災害ボランティアで被災者のおばあさん
の話（涙ぐんだ）がいいなと思った。

・居場所がない ☐ 住民が気軽に寄れる居場所づくり

・隣の家の人

・障害のある方でも参加できる祭りやイベントでワイワイやりたい

・障害のある方を知ってほしい

・祭りは子どもの参加率が多い

・あいさつが返ってくる ☐ 人が温かい

・小学校、海が近い

・年齢層で考え方のズレ

・若い方々とどうやってつながるか

・特別支援学校に通っている子も参加できたらよかった

☐ 地域から離れて通っているため知ってもらう機会少ない

・交通の便大切

・地域の行事を続けていく工夫

[後半]「みんなの地域の良いところは何ですか？」

「子どもたちの明るい未来のために何ができますか？」

- 上手くいっている地域の事例を他にも伝えたい
- 始まりはコミュニケーションをとること
- 挨拶

☐ 家族の中から、大人から

- 運動会 ☐ 行けば楽しい

☐ 子どもも楽しめる種目（靴飛ばし）
☐ 防災を絡めた種目

アイデア、
アクションを起こす

- お祭りに子どもの参加

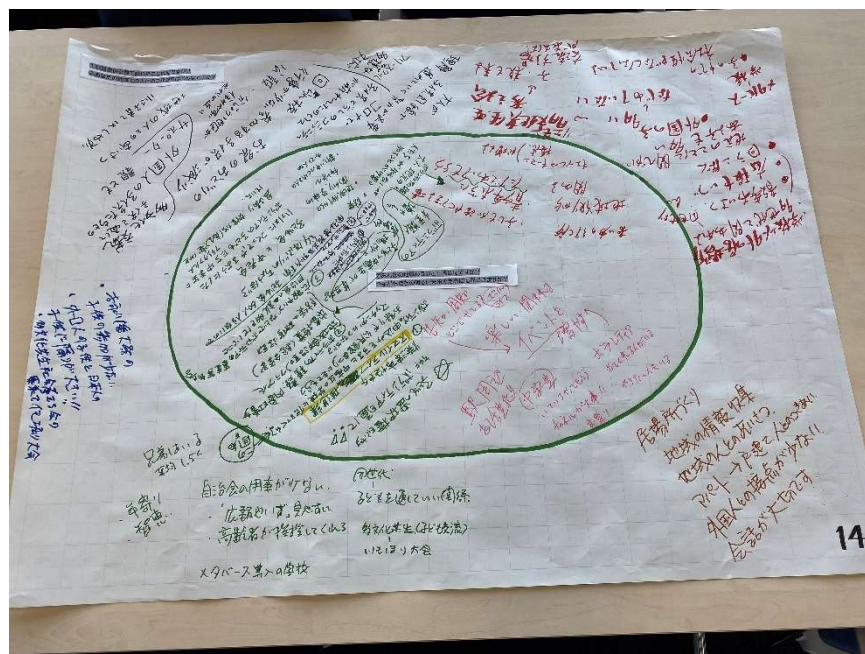
☐ 店の手伝い

- 自然が多い
- 史跡、文化財が多い
- 子どもたちとのつながりが多い

[発表]「子どもたちの明るい未来のために

“自分ができること” “みんなのできること”」

〔14テーブル〕



〔前半〕「話題提供を見て感じたことは何ですか？」

「あなたの地域での人とのつながりはどんなですか？」

- ・年寄り
- ・知恵
- ・自治会の用事、行事が少ない
- ・「広報やいづ」見やすい
- ・高齢者が挨拶してくれる
- ・メタバース導入の学校
- ・同世代＝子どもを通して良い関係
- ・多文化共生（子ども交流）☐ 芋掘り大会

- ・居場所づくり（多世代と関われる学校以外の居場所）
- ・地域の情報収集
- ・地域の人と挨拶（散歩挨拶）
- ・アパートだと戸建てより人との付き合い減
- ・外国人との接点少ない☐ 馴染めていない
 - ☐（利右衛門）多文化共生を考える会☐ 交流する場があれば…
- ・外国人と日本人の子どもの隔たり大きい
 - ☐ 親やサポーターとも交流
- ・会話が大切
- ・回覧板
- ・子の中での社会性がなくなっている
- ・地元のことに関心がある子も多い
- ・大人が子ども目線で理解、進めていく努力が必要
- ・コロナで子ども同士のコミュニティが崩れた
 - ☐ フリースクールなど多様な対応
- ・お祭りの踊りに参加する子ども減少（吉永八幡大祭も）
- ・分譲地区が住みやすい☐ 世代が近い

[後半]「みんなの地域の良いところは何ですか？」

「子どもたちの明るい未来のために何ができますか？」

- ・若者の行くところ
- ・地域側から関わる
- ・子どもが活躍できる場
- ・青少年ボランティアに携わってもらう
- ・キーマン、接点を増やす
- ・ボランティアの内容、種類を増やす
 - ☐ 大人や地元の人に知ってもらう ☐ 知ることが大事
- ・学校とのチャンネル
- ・子どもの選択肢を増やす
- ・スマイルライフ推進課の活用
 - ☐ ボランティアの申し込みをすると学校へ伝えてくれる
- ・お祭りや公民館まつりに来てもらう
- ・(自分でできること) ボランティアに参加
- ・(みんなのできること) ボランティアに関する情報共有
- ・地域(部活動)クラブ化
- ・出番授業(総合学習)
- ・防災の研修、活動
- ・自治会への説明 ☐ 八幡地区：子供会6割入らない
- ・子供会と中老会の連携
 - ☐ 一緒につくってやるようにした
- ・ボランティアに参加してくれた子たちにフランクフルト
- ・盆踊り ☐ 女性たちも楽しみにしていた

[発表]「子どもたちの明るい未来のために

“自分ができること” “みんなのできること”」

◎ 発表内容シート

「子どもたちの明るい未来のために “自分ができること” “みんなのできること”」

地域とのつながりの
チャンネルとして
ボランティア活動に参加

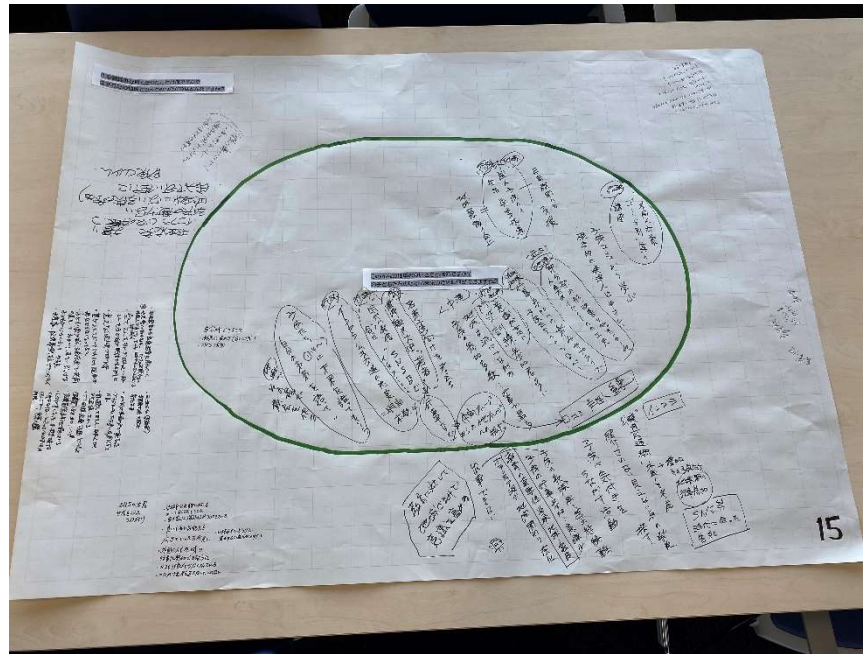
ボランティアに関する情報を共有

青少年ボラの周知
広報やいづ、自治会へ

14 テーブル

※ グループのイチオシ意見、特にみんなに伝えたいキーワードなどを記入

〔15 テーブル〕



〔前半〕「話題提供を見て感じたことは何ですか？」

「あなたの地域での人とのつながりはどんなですか？」

- SNSの活用
- 世代を超えたつながり
- 学校や公民館にチラシを置いて知らせる
- 空き家に海外の人が入ってきている
- 良い事例は他へも広げていった方が良い
- 外国の人でも地域の行事に参加できるように
- 見守り隊が少なくなっている
- つながりを考え直さないといけない

- 教育の重要性（学校、地域、家族）
 - ☑教育に対して地域ぐるみで意識を高める（強化）
- 子どもの数減少☑祭り等の継続困難
- 子どもの行事参加意識低下
- ボランティア減少☑地域関わり強化
- 子どもに気付きを促す活動
- 紹介されない、見えない点の発見（探す）
- インフラ、公共交通網の強化☑外国人も考慮
- SNS等は時代に合った告知
- バス少ない
- 横のつながり
- 食べ物おいしい
- 焼津外国人が増えている
- 外国の子ども参加
- 住みやすい街に
- 防災訓練
- 災害ボランティアを広げていく
- 支援員の充実
- 引っ越してきた人は日本人でもよそ者扱いされている
- ごみ問題（家電含む）

[後半]「みんなの地域の良いところは何ですか？」

「子どもたちの明るい未来のために何ができますか？」

- ・（自分ができること）子どもに声かけ（挨拶等）

SNS利用

- ・ 子どもたちに未来を語ってもらう

☒ 子どもコミュニティから学ぶ

- ・ 地域で、その場で機会をつくる

- ・ （行政）公共交通の充実 ☐ 時間や本数

- ・ （行政）時代に合ったSNSなどの情報発信

- ・ （行政）外国人対象のごみ分別等の講座

- ・ （行政）焼津観光大使“若者”

☒ 行事など

☒ 仲間グループから他グループへの拡大

☒ 口コミ、仕掛け重要

- ・ （中港）子どもの参加最多 ☐ 地域交流につながる

- ・ （行政地域）防災訓練 ☐ 参加者多い ☐ 意識が高い

- ・ （行政地域）行事参加への楽しみ、サプライズ

☒ 子どもたちへの促し

- ・ （行政地域）外国人子どもへの生活、学業指導

☒ 地域意識の向上、民間機関への支援

- ・ （和田地域）節分祭の形を改善 ☐ キッチンカー他

☒ 人集めイベントの工夫

- ・ 若者（子ども）向けを考える

- ・ 根本的に焼津人は優しい

[発表]「子どもたちの明るい未来のために

“自分ができること”“みんなでできること”」

◎ 発表内容シート

「子どもたちの明るい未来のために “自分ができること” “みんなでできること”」

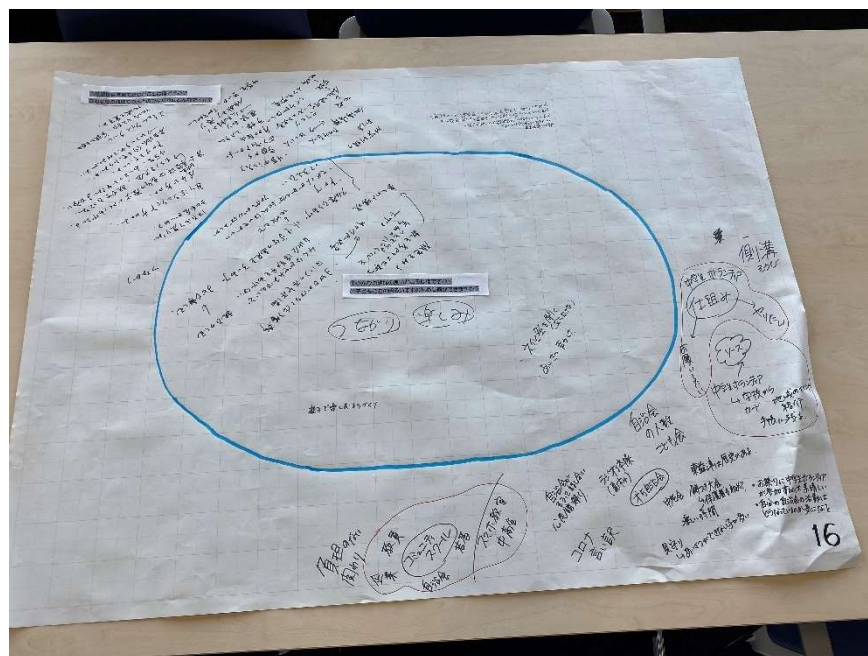
- ・ 日常的に子供たちに声かけを
（あいさつ等）
- ・ SNSの活用（インスタ・フェイスブック）
- ・ 行事参加への楽しみサプライズ
（子供参加しづらい地域）各地域で（若者やせん）

行政
（公共交通の充実）

15 テーブル

※ グループのイチオシ意見、特にみんなに伝えたいキーワードなどを記入

〔16 テーブル〕



〔前半〕「話題提供を見て感じたことは何ですか？」

「あなたの地域での人とのつながりはどんなですか？」

- コミュニティスクール（教員、企業、自治会、若者）

☒ 負担のない関わり

- 中高生のスマホ教室
- 自治会がそろって話し合い
- 公民館まつり
- コロナは言い訳
- ラジオ体操
- 中老会

- 見守り隊 ☒ 挨拶ができない子が多い
- 餅つき大会 ☒ 保護者も初めて、楽しい時間
- 東益津地区は歴史がある
- お祭りに中学生ボランティアが参加するのは素晴らしい
- 自分の自治会の活動はどうなっているか気になる
- 中学生ボランティア
 - ☒ やりたい人とお願いする人の仕組みづくり ☒ 学校から
- 側溝清掃
- 神社の大祭
 - ☒ イベントを催して子どもの参加が増え、子ども同士のつながり
仲間意識があり、例年開催
夏休みに作成した交通安全ポスター表彰もしている
- 防災訓練の在り方
- 地域、学校、会社と連携
- 仕組みづくりやニーズを知ることが大事
- 旗振り足りない
- 子供会壊滅
- 各自治会何をやったらよいか ☒ 色々やってみたらよい
- 声かけをしている
- コミュニティスクール
 - ☒ 地域とともに、学校とともに、地域を愛する

[後半]「みんなの地域の良いところは何ですか？」

「子どもたちの明るい未来のために何ができますか？」

- つながり
- 楽しみ、楽しめる環境
- 親子で楽しむまちづくり
- 文化祭を開く、立ち上げる
- 挨拶
- 顔色をみる
- 親を参加させる
- 参加のハードルを下げる
- 子どもが話して食べる場所

☒ 日頃の不平不満吐き出す ☐ 機会が必要

- みんながやれる範囲で
- 親が楽しむ ☐ 子が楽しむ
- 小中学生の意見をすいあげ ☐ 地域ごと
- やれる人で頑張って支える

☒ 50代忙しい ☐ 70代頑張るしかない

- 声かけ

[発表]「子どもたちの明るい未来のために

“自分ができること” “みんなのできること”」

◎ 発表内容シート

「子どもたちの明るい未来のために “自分ができること”
“みんなのできること”」

楽しくつながる

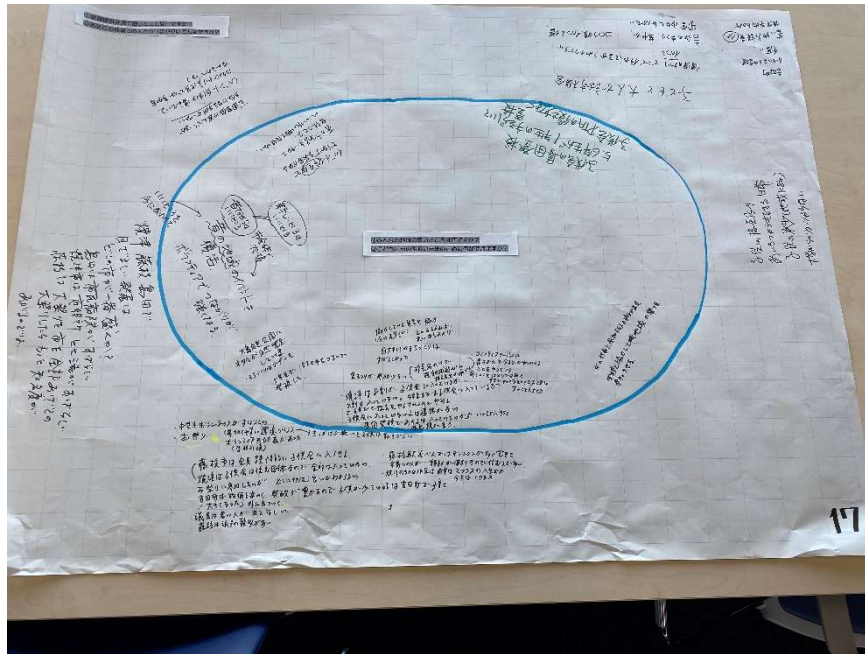
◎親子で イベント参加 ◎祭り 声かけ
ボランティア

あいさつ

16 テーブル

※ グループのイチオシ意見、特にみんなに伝えたいキーワードなどを記入

〔17 テーブル〕



〔前半〕「話題提供を見て感じたことは何ですか？」

「あなたの地域での人とのつながりはどんなですか？」

- 中学生ボランティアが素晴らしい
 - ☒ 参加しやすい環境づくり（昔ボランティア参加表があった）
 - ☒ きっかけがないと子どもは動きづらい
- 藤枝市は全員強制的に子供会に入られる
 - ☒ 焼津市は、子供会は任意団体なので全員は入っていない
- お祭りに参加したいがどこに行ったら参加できるかわからない
- 吉田町は物価も安いし、財政が豊かなので子どもが小さい時は吉田町で子育て、大きくなったら外に出ていく
 - ☒ 小さい子への支援厚い

- 議員は若い人が出てほしい
- 藤枝駅周辺はマンションが多くできて高齢者でも移動が楽
- 子どもとの接点づくり
- 挨拶から始まる日常
- 子どもの減少（地域による）
- 大学からのリターンが少ない
- 子どもと大人が話す機会
- 焼津のイベントは、どこで何をやっているかわかりにくい
 - ☒ 周知の方法によっては参加者が増えるのでは？
- 吉永の祭りは、華やか
- 災害が少なく、ありがたい
- コロナ後イベント増加
- 公園整備は進んでいるが、主役になる子どもがいない
- 焼津、藤枝、島田で目覚ましい発展はこの市が一番盛んか？

☒ 焼津市：市役所、とと湯が素晴らしい

藤枝市：大祭は市全体をあげてやったらもっと知名度があがる

島田市：市民病院が素晴らしい

[後半]「みんなの地域の良いところは何ですか？」

「子どもたちの明るい未来のために何ができますか？」

・ イベントを市全体で盛り上げる必要がある

・ 昔からある良いものを継続させる

☐ 新しいものも拒絶しない

・ 昔の地域のイベントを復活

☐ 昔ながらの良いところと新しい良いところを今に合わせる

・ ボランティアでつながりが強くなる

・ 大島自然公園にホテルが自然発生している

・ まちづくりはリーダーを

・ 子供会の集団登校

☐ 小学生の時、高学年が低学年と手を繋いで登校した

・ 協力してくれる先生と協力する ☐ 協力しない先生もいる

・ 旧大井川のまちづくりは素晴らしかった

・ 荒まつり参加が少ない

・ 子供会の在り方（入っていない子との関係性）

☐ 入っていない子と連絡とれない

・ 市の行事に参加する人も減少している

・ 学校と連携し地域の祭りに参加させる

・ 子供会、PTAの役を少なくする

[発表]「子どもたちの明るい未来のために

“自分ができること” “みんなでできること”」

◎ 発表内容シート

「子どもたちの明るい未来のために“自分ができること”

“みんなでできること”」

コミュニティスクールとは 児童館に新しい物をつきより、今までのことを
大切にすることです。

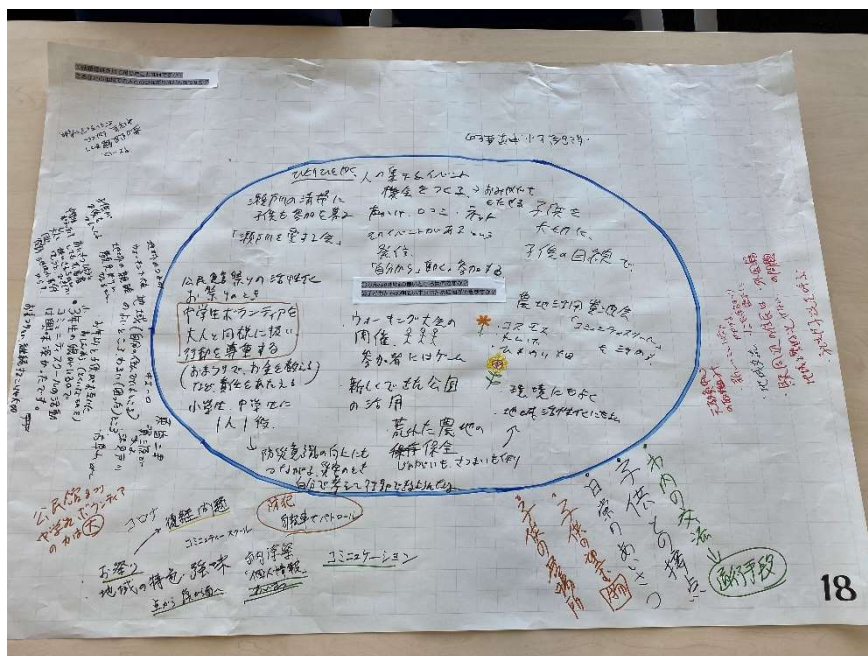
以前大井川町時代、我々の町内会ではホテルを差越にホテル経営を
10年近くやっていた。経営合併を始めた。断り、しかばうに到り。
今はやめようとした。新井川

我々のホテルを大島の自然公園に譲渡して5〜6年経ちました。
遊園地をやめました。昨年より30匹以上の自然発生しました。
とある子供さんがホテルに ~~作~~ 威嚇をしてくれました。あつて
もいれはる。まだ少しは怖がりです。お礼のしす

17 テーブル

※ グループのイチオシ意見、特にみんなに伝えたいキーワードなどを記入

〔18 テーブル〕



〔前半〕「話題提供を見て感じたことは何ですか？」

「あなたの地域での人とのつながりはどんなですか？」

- 子どもの居場所
- 子どもの望むもの
- 日常の挨拶
- 子どもとの接点
- 市内の交流 ☐ 交通手段充実
- 元教員中心の取り組み
- 地域交流、親睦 ☐ 顔見知りになる
- 新しいことには労力かかる

- 公民館まつり盛大に
- ☐ 中学生ボランティアの力が大きい
- 駅周辺の住民は地域とつながることがない
- 外国籍の問題
- 子どもが子どもを呼び、連れてくる
- 自治会と小中学生との関わり
- キーエー
- 豊田公民館まつり ☐ 中学生ボランティア約 50 人参加
- 地域の強み、特色
- ウォーキング大会
- 挨拶しようとしても不審者扱いされてしまうと思ってしまう
- ☐ 池田小事件から
- 中学生ボランティア ☐ 大人と同じ役割
- 資源がある
- 瀬戸川
- 高草山
- お年寄りと子どもが得意なものを互いに教え合う
- 小3の娘がいるので、コミュニティスクールの活動は興味深かった
- お祭りとか継続することが大切
- お祭り ☐ (コロナによる) 後継問題
- 点から線へ、線から面へ
- 納涼祭
- 個人情報
- 防犯 ☐ 自転車でパトロール
- コミュニケーション

[後半]「みんなの地域の良いところは何ですか？」

「子どもたちの明るい未来のために何ができますか？」

- 全員に一人一役
 - ☐ 防災意識の向上にもつながる
 - ☐ 災害時自分で考えて行動できるようになる
- 瀬戸川清掃に子どもの参加募る ☐ 瀬戸川を愛する会
- 人の集まるイベント ☐ お土産を持たせる
- 機会をつくる
- そのイベントがあるという発信 ☐ 声かけ、口コミ、ネット
- 自分から動く、参加する
- 子どもを大切に ☐ 子どもの目線で
- 公民館まつりの活性化
 - ☐ 参加する中学生ボラを大人と同様に扱い、行動を尊重する
 - ☐ お金を数えるなど責任を与える
- ウォーキング大会の開催 ☐ 参加者にはゲーム
- 新しくできた公園の活用
- 荒れた農地の保全 ☐ じゃがいも、さつまいもづくり
 - ☐ 環境にもよく、地域活性化にもよい
- 農地活用資源会 ☐ コスモス、ひまわり、蓮華、畑など
 - ☐ コミュニティスクールを活かす

[発表]「子どもたちの明るい未来のために

“自分ができること” “みんなでできること”」

◎ 発表内容シート

「子どもたちの明るい未来のために “自分ができること” “みんなでできること”」

イチオシ

・公民館まつりのボランタリーとして、小中学生に参加してもらう。
(1人でやるの難)

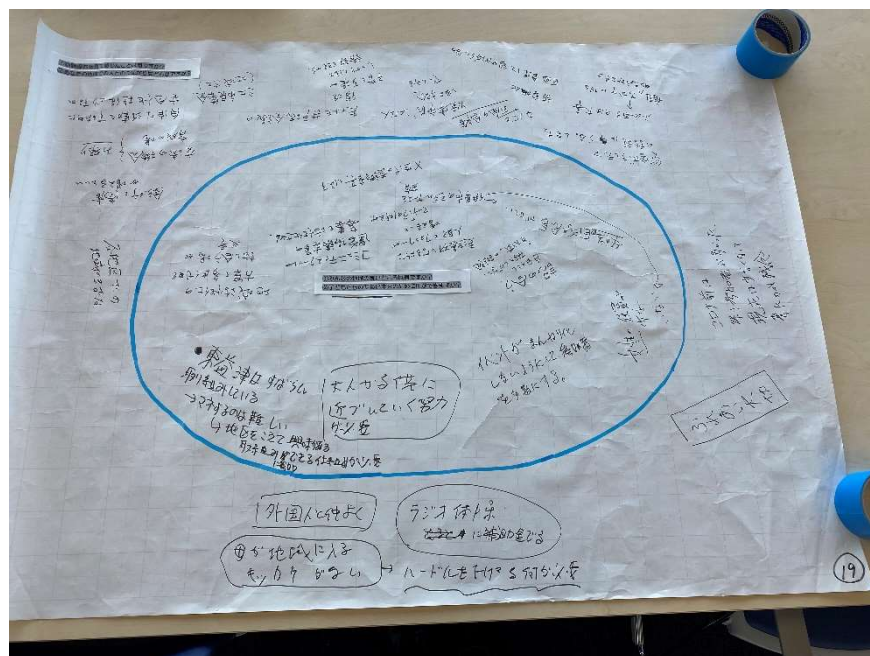
・参加した子どもは「大人と同様に扱い、お金の管理を通じて学ぶ」
お金の
学んでもらう。(尊重)

“自分ができること”は、行事に関与し、多くの人が来てもらえるように呼びかけること。

18 テーブル

※ グループのイチオシ意見、特にみんなに伝えたいキーワードなどを記入

〔19 テーブル〕



- 災害ボランティアの話題にうるっときた
- 心とお金の余裕
- 核家族化
- 区画整理して組がバラバラになる
- 焼津市民で「こんな人いるよ紹介」やってみる
- 失われた井戸端会議の復活
- 子育て支援がしっかりしていると誘致できるかも
- (地域ごとでの) ミニ市民集会
- 銀行と商店が増えるといい
- お祭り☐交流の機会、育成の場
- 自由な行動をするために安全性担保をどうするか

〔前半〕「話題提供を見て感じたことは何ですか？」

「あなたの地域での人とのつながりはどんなですか？」

- 各地区での地域の絆
- 外国人と仲良く
- 母が地域に入るきっかけがない
- ☐ハードルを下げる何かが必要
- ラジオ体操
- ふれあい大切、大事
- ☐福祉に興味を持つきっかけになる
- コロナ前は祭りの参加者が多かったが、現在は減少したのが残念

[後半]「みんなの地域の良いところは何ですか？」

「子どもたちの明るい未来のために何ができますか？」

- 女性の自治会長がほしい
- 女性役員が少ない、いない
- 認め合う
- 自分のことを棚に上げない
- 「当たり前」の排除
- 起爆剤となるような人財とフォロワーが増えること

+

マッチングの仕組み

- X 世代の意識変革を促す
- コミュニティスクールの運営協議委員の募集を活性化させる
- 地域活性化の方策を多世代で話し合う場が必要
- 東益津は素晴らしい取組みをしている ☐ 真似するのは難しい
- ☐ 地区を超えて興味がある取組みに参加できる仕組みが必要
- 大人から子どもに近づいていく努力が必要
- イベントがマンネリ化しないように工夫して参加者を増やす

[発表]「子どもたちの明るい未来のために

“自分ができること” “みんなのできること”」

◎発表内容シート

「子どもたちの明るい未来のために “自分ができること” “みんなのできること”」

さそいあい、声をかけあう
地区をこえて 参画できる 行事

自治会役員に 若い世代、女性が
加わってほしい⇒ 認めあう

人を大切にする

19 テーブル

※ グループのイチオシ意見、特にみんなに伝えたいキーワードなどを記入